

## 平成 30(2018)年度事業報告書の概要

### 1 設置する学校・学部・学科等

- (1) 宮崎国際大学 国際教養学部 比較文化学科  
教育学部 児童教育学科
- (2) 宮崎学園短期大学 保育科, 現代ビジネス科  
専攻科 (福祉専攻)
- (3) 宮崎学園高等学校 特進科, 普通科, 経営情報科
- (4) 宮崎学園中学校
- (5) 幼保連携型認定こども園宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園
- (6) 幼p保連携型認定こども園宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園

### 2 学部・学科等の入学定員・学生数の状況

#### (1) 宮崎国際大学

| 年次  | 学部・学科 (専攻)     | 入学定員 | 入学者数 | 平30.5.1現在 在籍数 |
|-----|----------------|------|------|---------------|
| 1   | 国際教養学部(比較文化学科) | 100  | 87   | 89            |
|     | 教育学部(児童教育学科)   | 50   | 44   | 43            |
| 2   | 国際教養学部(比較文化学科) | —    | —    | 70            |
|     | 教育学部(児童教育学科)   | —    | 2    | 45            |
| 3   | 国際教養学部(比較文化学科) | —    | —    | 55            |
|     | 教育学部(児童教育学科)   | —    | —    | 33            |
| 4   | 国際教養学部(比較文化学科) | —    | —    | 56            |
|     | 教育学部(児童教育学科)   | —    | —    | 37            |
| 合 計 |                | 150  | 133  | 428           |

※2 年次編入学 2 人

#### (2) 宮崎学園短期大学

| 年次  | 学 科    | 入学定員 | 入学者数 | 平30.5.1現在 在籍数 |
|-----|--------|------|------|---------------|
| 1   | 保 育    | 210  | 220  | 220           |
|     | 現代ビジネス | 50   | 40   | 39            |
|     | 小 計    | 260  | 260  | 259           |
| 2   | 保 育    | —    | —    | 217           |
|     | 現代ビジネス | —    | —    | 47            |
|     | 小 計    | —    | —    | 264           |
| 年次  | 専 攻 科  | 入学定員 | 入学者数 | 平30.5.1現在 在籍数 |
|     | 福祉専攻   | 50   | 25   | 25            |
| 合 計 |        | 320  | 285  | 548           |

## (3) 宮崎学園高等学校

| 年次  | 学科(専攻) | 入学定員 | 入学者数 | 平305.1現在 在籍数 |
|-----|--------|------|------|--------------|
| 1   | 特 進    | 100  | 96   | 97           |
|     | 普 通    | 210  | 141  | 142          |
|     | 経営情報   | 80   | 45   | 46           |
|     | 小 計    | 390  | 282  | 285          |
| 2   | 特 進    | —    | —    | 78           |
|     | 普 通    | —    | —    | 125          |
|     | 経営情報   | —    | —    | 42           |
|     | 小 計    | —    | —    | 245          |
| 3   | 特 進    | —    | —    | 67           |
|     | 普 通    | —    | —    | 130          |
|     | 経営情報   | —    | —    | 40           |
|     | 小 計    | —    | —    | 237          |
| 合 計 |        | 390  | 282  | 767          |

## (4) 宮崎学園中学校

| 年次  | 区 分 | 収容定員 | 入学者数 | 平305.1現在 在籍数 |
|-----|-----|------|------|--------------|
| 1   |     | 70   | 102  | 102          |
| 2   |     | 70   | —    | 82           |
| 3   |     | 40   | —    | 68           |
| 合 計 |     | 180  | 102  | 252          |

## (5) 幼保連携型認定こども園宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園

| 年次  | 区 分       | 収容定員 | 入園者数 | 平305.1現在 在籍数 |
|-----|-----------|------|------|--------------|
|     | 保育(0～2歳児) | 36   | 19   | 43           |
|     | 年少(3歳児)   | 63   | 49   | 66           |
|     | 年中(4歳児)   | 64   | 6    | 66           |
|     | 年長(5歳児)   | 60   | 5    | 65           |
| 合 計 |           | 223  | 79   | 240          |

## (6) 幼保連携型認定こども園宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園

| 年次  | 区 分       | 収容定員 | 入園者数 | 平305.1現在 在籍数 |
|-----|-----------|------|------|--------------|
|     | 保育(0～2歳児) | 36   | 10   | 30           |
|     | 年少(3歳児)   | 60   | 17   | 43           |
|     | 年中(4歳児)   | 60   | 3    | 46           |
|     | 年長(5歳児)   | 60   | 1    | 54           |
| 合 計 |           | 216  | 31   | 173          |

|      |       |
|------|-------|
| 総在籍数 | 2,408 |
|------|-------|

### 3. 役員・評議員・教員（学校長名等）・職員の人数（平成30年5月1日現在）

(1) 役員

理事 7人（うち、理事長1人、常勤理事5人）

監事 2人

(2) 評議員

17人（うち、7人については理事を兼ねる）

(3) 教員

宮崎国際大学 第4代学長：山下恵子（平成29.4.1就任）

| 区分     | 専 任 |     |    |    |    |    | 兼任 | 合計 |
|--------|-----|-----|----|----|----|----|----|----|
|        | 教授  | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | 計  |    |    |
| 国際教養学部 | 12  | 8   | 8  | 1  | 0  | 29 | 8  | 37 |
| 教育学部   | 5   | 4   | 5  | 0  | 0  | 14 | 30 | 44 |
| 合 計    | 17  | 12  | 13 | 1  | 0  | 43 | 38 | 81 |

宮崎学園短期大学 第7代学長：宗和太郎（平成27.4.1就任）

| 区分      | 専 任 |     |    |    |    |    | 兼任 | 合計 |
|---------|-----|-----|----|----|----|----|----|----|
|         | 教授  | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | 計  |    |    |
| 保 育 科   | 7   | 11  | 9  | 0  | 0  | 27 | 42 | 69 |
| 現代ビジネス科 | 3   | 0   | 3  | 1  | 0  | 7  | 13 | 20 |
| 合 計     | 10  | 11  | 12 | 1  | 0  | 34 | 55 | 89 |

※教授欄には、学長を含む。保育科には専攻科の3人を含む。

※兼任欄は、後期及び集中講義担当を除く。

宮崎学園高等学校 第16代校長：佐藤公洋（平成30.4.1就任）

| 区分 | 専 任 |     |    |    |     |    | 兼任 | 合計 |
|----|-----|-----|----|----|-----|----|----|----|
|    | 校長  | 副校長 | 教頭 | 教諭 | その他 | 計  |    |    |
|    | 1   | 1   | 2  | 46 | 2   | 52 | 36 | 88 |

※その他には、外国人講師1人、養護教諭1人。中学校との併任除く。

宮崎学園中学校 第4代校長：佐藤公洋（平成30.4.1就任）

| 区分 | 専 任 |     |    |    |    | 兼任 | 合計 |
|----|-----|-----|----|----|----|----|----|
|    | 校長  | 副校長 | 教頭 | 教員 | 計  |    |    |
|    | ※   | 1   | 1  | 13 | 15 | 8  | 23 |

※校長は、宮崎学園高等学校の校長欄に含む。高校との併任除く。

幼保連携型認定こども園宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園 第2代園長：久島孝昭（平成30.4.1就任）

| 区分 | 専 任 |      |    |    | 兼任 | 合計 |
|----|-----|------|----|----|----|----|
|    | 園長  | 主任教諭 | 教諭 | 計  |    |    |
|    | 1   | 2    | 14 | 17 | 18 | 35 |

幼保連携型認定こども園宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園 第10代園長：富高令子（平成27.4.1就任）

| 区分 | 専 任 |      |    |    | 兼任 | 合計 |
|----|-----|------|----|----|----|----|
|    | 園長  | 主任教諭 | 教諭 | 計  |    |    |
|    | 1   | 2    | 14 | 17 | 12 | 29 |

#### (4) 職 員

|                 | 常勤職員 | 非常勤職員 | 合 計 |
|-----------------|------|-------|-----|
| 法 人 本 部         | 5    | 0     | 5   |
| 宮 崎 国 際 大 学     | 14   | 3     | 17  |
| 宮 崎 学 園 短 期 大 学 | 15   | 1     | 16  |
| 宮 崎 学 園 図 書 館   | 3    | 4     | 7   |
| 宮 崎 学 園 高 等 学 校 | 6    | 1     | 7   |
| 宮 崎 学 園 中 学 校   | 0    | 0     | 0   |
| み どり 幼 稚 園      | 2    | 1     | 3   |
| 清 武 み どり 幼 稚 園  | 1    | 1     | 2   |
| 合 計             | 46   | 11    | 57  |

※高等学校事務室は中学校を兼ねる。

## 4. 建学の理念・教育目標等

宮崎学園は、建学の精神「礼節・勤労」のもと、高等学校や短期大学において長年にわたり地域に密着した職業人の育成に力を注いできており、平成6(1994)年度には、国際化時代に求められる人材育成のため四年制大学を開学した。また、平成15(2003)年度には高等学校を、平成20(2008)年度には短期大学を男女共学化している。平成21(2009)年度には、高等学校との中高一貫教育を行う中学校を開設し、平成28(2016)年度・平成29(2017)年度には短期大学附属幼稚園2園を幼保連携型認定こども園に移行した。

建学の精神「礼節・勤労」は、人が社会の中で生きていくために必要な基本的理念であるため、時代の変化によってその重要性が失われることはない。宮崎学園の教職員や生徒等が建学の精神に基づく教育活動を日々実践することによって、「宮崎学園ブランド」の確立に取り組む。

### ○宮崎国際大学

目的：国際教養学部は、大学の目的に沿って、内外の文化、社会と英語に通じた国際人の養成を目的とする。

教育学部は、大学の目的に沿って、高い教養に基づく教育の専門的技能を備えた人材の養成を目的とする。

目標：退学者ゼロ，就職率100%，TOEIC700点以上

### ○宮崎学園短期大学

目的：一般教養と密接な関連のもとに実際の専門学術の理論及び職業技能を教授研究して、社会人類の福祉に貢献する人物を育成することを目的とする。



|              |                                                                                               |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
|              | 学校廃止)                                                                                         |
| 昭和30年(1955)  | 宮崎女子商業高等学校を宮崎女子高等学校と改称                                                                        |
| 昭和35年(1960)  | 宮崎みどり幼稚園設置                                                                                    |
| 昭和40年(1965)  | 宮崎女子短期大学設置（保育科）<br>宮崎みどり幼稚園を宮崎女子短期大学附属みどり幼稚園と改称                                               |
| 昭和41年(1966)  | 宮崎女子短期大学に国文科設置                                                                                |
| 昭和42年(1967)  | 宮崎女子短期大学に初等教育科設置<br>宮崎女子短期大学附属清武みどり幼稚園設置<br>宮崎女子中学校廃止                                         |
| 昭和43年(1968)  | 宮崎女子高等学校に音楽科設置                                                                                |
| 昭和45年(1970)  | 宮崎女子短期大学に音楽科設置                                                                                |
| 昭和48年(1973)  | 宮崎女子高等学校に情報処理科設置                                                                              |
| 昭和56年(1981)  | 宮崎女子専門学校開校                                                                                    |
| 昭和59年(1984)  | 宮崎女子専門学校を宮崎学園技術専門学校と改称                                                                        |
| 昭和61年(1986)  | 宮崎女子短期大学に英語科設置                                                                                |
| 平成 2年(1990)  | 宮崎女子高等学校商業科を国際情報科に改称<br>宮崎学園技術専門学校をオービック専門学校に改称                                               |
| 平成 5年(1993)  | 宮崎女子高等学校に文英科設置                                                                                |
| 平成 6 年(1994) | 宮崎国際大学開学<br>宮崎学園図書館・国際交流センター竣工                                                                |
| 平成10年(1998)  | 宮崎女子短期大学に専攻科（福祉専攻）設置                                                                          |
| 平成14年(2002)  | 宮崎女子短期大学に専攻科（音楽療法）設置<br>宮崎女子高等学校文英科を特進科に改称                                                    |
| 平成15年(2003)  | 宮崎女子高等学校を男女共学とし、宮崎学園高等学校に改称<br>宮崎学園短期大学国文科及び英語科を人間文化学科に改組転換                                   |
| 平成18年(2006)  | 宮崎国際大学比較文化学部を国際教養学部に変更                                                                        |
| 平成19年(2007)  | 宮崎学園高等学校情報処理科を経営情報科に改称                                                                        |
| 平成20年(2008)  | 宮崎女子短期大学を男女共学とし、宮崎学園短期大学に改称                                                                   |
| 平成21年(2009)  | オービック専門学校廃止<br>宮崎学園中学校開校                                                                      |
| 平成26年(2014)  | 宮崎国際大学に教育学部児童教育学科設置<br>宮崎学園短期大学に現代ビジネス科設置                                                     |
| 平成27年(2015)  | 宮崎学園短期大学の初等教育科・音楽科・人間文化学科廃止                                                                   |
| 平成28年(2016)  | 宮崎学園短期大学専攻科（音楽療法専攻）廃止<br>宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園廃止<br>幼保連携型認定こども園宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園設置<br>宮崎学園高等学校音楽科廃止 |
| 平成29年(2017)  | 宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園廃止<br>幼保連携型認定こども園宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園設置                                       |

## 6. 事業の概要

- (1) 学園の情報開示については、各学校のホームページに掲載しており、下記の平成 29(2017)年度財務書類等も公開しています。また、各学校事務室に備えられた財務書類等も閲覧することができます。

○平成 29(2017)年度決算の概要

資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表

○平成 29(2017)年度事業報告書の概要

設置する学校・学部・学科等

学部・学科等の入学定員・学生数の状況

役員・評議員・教員・職員の人数（平成 29 年 5 月 1 日現在）

事業の概要

(2) 大学では、教職課程（小学校教諭・幼稚園教諭／中学校・高等学校英語教諭）の再課程認定申請を行い、平成 31(2019)年 1 月 25 日付けで認定されました。平成 30(2018)年 12 月 5 日には、文科省の教職課程認定大学等実地視察が行われました。

大学教育再生加速プログラム（AP 韮 26 年度採択）では、関西国際大学と共同でシンポジウム（韮 31.2.16 関西国際大学）を開催しました。また、同プログラムの実施状況については、平成 31(2019)年 3 月 20 日に外部評価を受けました。

(3) 短期大学では、平成 31(2019)年度に予定されている認証評価へ向けて、年間を通して自己点検・評価を行い、課題の共有を図りました。また、教職課程（幼稚園教諭）の再課程認定申請を行い、平成 31(2019)年 1 月 25 日付けで認定されました。

(4) 高等学校では、定員割れが続く普通科の平成 30(2018)年度入学定員を 210 人から 200 人に減じ、平成 31(2019)年度は経営情報科の入学定員を 80 人から 70 人に減ずるための手続を行いました。

(5) 中学校では、平成 30(2018)年度入学生から定員増（70 人から 105 人へ）を計画していましたが、安定した志願者増と教員配置についての環境が整うまでの間、保留することにしました。

(6) 短期大学附属みどり幼稚園（幼保連携型認定こども園）では、幼保連携型認定こども園への移行後、初の公開保育（韮 31.2.23 研究テーマ：「きまりよく・なかよく・ありがとう～音で遊ぼうの実践を通して～」）を実施しました。

(7) 短期大学附属清武みどり幼稚園（幼保連携型認定こども園）では、地域のニーズに合わせるため、平成 31(2019)年度の利用定員について定員枠内（216 人）で 1 号認定を減じ、2 号・3 号認定定員を増やす変更を行いました。

## 7. 主な事業の目的・計画及び進捗状況

### 法人本部

平成 30(2018)年度の行動計画については、次の通り履行しました。

#### (1) 事業計画書・事業報告書

平成 29(2017)年度事業報告書は、各学校から法人本部への提出期限を平成 30(2018)年 4 月 13 日とし、平成 29(2017)年度決算と共に事業の実績として平成 30(2018)年度第 2 回理事会（韮 30.5.29 開催）に付議し、承認されました。

平成 31(2019)年度事業計画書は、各学校から法人本部への提出期限を平成 30(2018)年 11 月末日としました。事業計画については、年度末に各学校の PDCA による進捗管理の状態を確認しました。各学校の教育活動等については具体的な数値目標を上げることを課題としました。また、平成 31(2019)年度予算編成のための各学校ヒアリングを実施しました。

平成 31(2019)年度事業計画は、予算と共に平成 30(2018)年度第 5 回評議員会(平成 31.2.26 開催)にて意見を聴取し、同日開催された第 7 回理事会において承認されました。

## (2) 経営改善計画・中長期計画

経営改善計画(平成 27~31 年度)については、平成 30(2018)年 6 月 1 日付けで履行状況(実施管理表)について各所属長に更新の依頼を行い、同年 7 月 31 日までに提出を求めました。更新された実施管理表(履行状況)については、第 5 回理事会・第 3 回評議員会(平成 30.9.25 開催)にて報告を行いました。なお、平成 28(2016)年度から 2 か年続いて実施した経営改善計画に係る外部評価については、2 か年の評価結果を検証するため実施を見送りました。

また、2020 年度から 3 年間の新・経営改善計画について、経営改善計画プロジェクトチームを中心に案策定を行い、平成 30(2018)年度第 8 回理事会(平成 31.3.14 開催)にて承認されました。

中長期計画については、「中長期計画 2011-2020(第三版)」の履行中であり、平成 30(2018)年度は 2021 年度から 10 か年の中長期計画について、平成 30(2018)年 6 月 1 日付けで各学校に策定を依頼しました(2020 年度策定完了予定)。

大学・短期大学・高等学校に関する「経費削減目標(平成 27~29 年度)」の平成 29(2017)年度履行状況については、平成 30(2018)年 10 月開催の幹部連絡会議にて報告を行いました。

## (3) 平成 30(2018)年度の監査

第一次監査(学内)は、平成 30(2018)年 4 月末日までに各学校で実施され、5 月末日までに法人本部に内部監査報告書が提出されました。

法人監事による第二次監査は、事前に「監事監査質問票」が各学校に配布され、受検体制を整えたうえで、下記の通り実施されました。

平成 30(2018)年 8 月 17 日 短期大学/清武みどり幼稚園

8 月 20 日 中学校・高等学校/みどり幼稚園

8 月 21 日 大学/学園図書館

監事監査の指摘事項については、平成 30(2018)年 8 月 27 日付けで通知され、同年 10 月末日までに改善履行状況の報告が提出されました。

特別監査(中長期計画・経営改善計画等)については、中長期計画について平成 30(2018)年 11 月 27 日、経営改善計画については平成 30(2018)年 9 月 25 日に、いずれも所属長へのヒアリング形式にて監事監査が行われました。

予算監査については、下記の通り実施されました。

平成 30(2018)年 5 月 24 日・25 日 平成 30 年度予算編成/平成 29 年度予算執行状況

平成 30(2018)年 10 月 30 日 平成 30 年度予算執行状況/平成 31 年度予算編成

## (4) 定期昇給については、平成 27(2015)年度に引き続き、昇給幅抑制を継続しました。

## (5) ストレスチェック

前年度より 1 か月早いスケジュールで実施しました。産業医の指示により 6 月から 7 月にかけて問診票を回収し、同年 7 月 25 日に教職員個人に結果が届きました。平成 30(2018)年 10 月 23 日付けで産業医からストレスチェック報告書が理事長宛に提出されました。また、平成 30(2018)年 11 月 2 日には「心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告書」を労働基準監督署に提出しました。なお、昨年に続いて産業医による高ストレス者との面談が行われました。

## (6) 教職員の研修

4月当初の幹部連絡会議にて勤務時間の管理、各種管理者（防火管理者・衛生管理者・安全運転管理者等）の届出、次世代育成支援推進法に基づく行動計画、女性活躍推進法に係る一般事業主行動計画等についての説明を行いました。

5月開催の幹部連絡会議では、平成30(2018)年5月15日付け文科省初等中等教育局「熱中症事故の防止について（依頼）」に基づき、対策について確認を行いました。

6月開催の幹部連絡会議では、学園の財務状況についての理解を深めるため、決算書類の読み方、財務分析及び平成29(2017)年度決算の概要について説明を行いました。

また、平成30(2018)年6月25日付け「宮崎学園の財政状況について」を全教職員に配布し、それをもとに各所属長主催の財政状況等についての説明会を実施しました。

7月開催の幹部連絡会議では、平成30(2018)年7月18日付け文科省初等中等教育局「熱中症事故の防止について（事務連絡）」に基づき、再度、対策について確認を行いました。

8月開催の幹部連絡会議では、全国労働衛生週間「こころとからだの健康づくり みんなで進める働き方改革」について説明を行いました。

10月開催の幹部連絡会議では、毎年実施が求められている非構造部材の耐震対策状況調査について、資料に基づき確認を行いました。また、平成30(2018)年10月26日開催の日本私立大学協会秋季総会資料「我が国における私学の展望と諸課題」を配布し、重点項目について説明を行いました。また、改正労働基準法に伴う平成31(2019)年4月1日施行予定の就業規則変更案（年次有給休暇5日の時季指定）について説明を行いました。

11月開催の幹部連絡会議では、学校法人運営調査における経営指導の充実について、資料に基づき説明を行いました。

1月開催の幹部連絡会議では、働き方関連法・労働基準法改正に伴う時間外労働・休日労働に関する協定について、資料（労働基準法改正に伴う時間外労働の上限規制のポイントと三六協定例：私学経営№526）に基づき説明を行いました。また、他校で発生した校舎庇落下事故発生を受けて、文科省発「既存学校施設の維持管理について」による施設確認を依頼しました。

3月開催の幹部連絡会議では、平成31(2019)年4月1日施行予定の改正労働基準法施行規則に基づく労働者代表選出の在り方について説明を行いました。

3月26・27日には、日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センター 私学情報室長（野田文克氏）による学園財務研修会（①中高校教職員対象 ②学園幹部教職員対象）を開催しました。

## (7) 法改正等に伴う所要の整備を行う。

改正労働基準法（平成31(2019)年4月1日施行）による年次有給休暇5日の時季指定について、各学校就業規則の変更案を提案し、平成30(2018)年度第8回理事会（第31.3.14開催）にて承認されました。

学校における働き方改革に伴う部活動の方針については、設置者の方針及びそれを受けて学校の活動方針を策定し、常勤理事会（第31.4.3開催）の協議を経て決定しました。

## (8) 平成31（2019）年度に学園創立80周年を迎えるので、平成30（2018）年度に記念行事実行委員会を組織し、下記の記念行事等を行うことになりました。

令和元年10月12日(土) ミュージカル「ぞうれっしゃがやってきた」他

10月14日(月) 式典・祝賀会

その他、学校等主催行事は下記の通り。

英語スピーチコンテスト（大学）／人権セミナー（大学・短期大学）／公開保育（みどり幼稚園）／大坪記念ホールステージ改修／記念室整備／法人本部ホームページ開設／寄付金募集 等

- (9) 大学については、平成 30(2018)年度に計画していた本館・1 号館空調更新について、申請した補助金の採択がなかったため、次年度繰越としました。

大学の教育学部設置に係る履行状況報告書については、設置計画に係る履行状況は平成 30(2018)年 5 月に、財政状況等に係る履行状況については同年 9 月に提出し、設置計画に関して 1 点、財政状況等に関して 1 点の改善意見が付されました。

競争的補助金については、私立大学等改革総合支援事業にて 2 件（タイプ 1・4）の選定を受けました。また、私立大学等経営強化支援事業の選定を受け、平成 30(2018)年度から 3 か年の補助対象となりました。

平成 30(2018)年度から高等学校生徒寮敷地内に女子学生寮（短期大学共用）を開設し、初年度は大学から 5 人の学生が入寮しました。また、平成 31(2019)年度の留学生受け入れに備え、国際交流シェアハウス（ドミトリーMIC）の整備を行いました。

- (10) 短期大学については、前年度に続いて競争的補助金（改革総合支援事業：タイプ 1）に申請・選定され、補助金を獲得しました。

平成 31(2019)年度に（財）短期大学基準協会による第三者評価が予定されているので、平成 30(2018)年度は「自己点検・評価報告書」の作成支援を行いました。

施設等整備については、大学共用の女子学生寮に 9 人の入寮がありました。

- (11) 高等学校については、平成 31(2019)年度の経営情報科入学定員を 80 人から 70 人に変更することについて、平成 30(2018)年 12 月 1 日付けで学則変更認可申請を行い、平成 31(2019)年 1 月 23 日付けで、県知事認可を受けました。

中学校については、平成 30(2018)年度から入学定員を 105 人に増員する計画がありましたが、今後の出願倍率の伸びを見て決定するため、定員増を先送りしました。

- (12) 幼保連携型認定こども園に移行したみどり幼稚園及び清武みどり幼稚園については、平成 31(2019)年度から処遇改善Ⅱを適用するため、常勤理事会議（臈 31.3.27 開催）にて協議のうえ取扱要領を定めました。

清武みどり幼稚園では、平成 31(2019)年度の利用定員変更について宮崎市に確認申請を行い、平成 30(2018)年 10 月 29 日付けで確認通知を受けました。それに伴い、平成 30(2018)年度第 8 回理事会（臈 31.3.14 開催）にて園則変更が承認され、宮崎市へ園則変更届を提出しました。

両園共に平成 30(2018)年度末に退職者があったため、清武みどり幼稚園には大学教育学部から 1 人、みどり幼稚園には短期大学専攻科(福祉専攻)から 2 人、保育科から 1 人の新規採用を行いました。

- (13) 奨学制度

平成 27(2015)年度入学生から、一部（兄弟姉妹・姉妹校に係る入学金半額免除、及び中学校・高校内進生対象）を残して廃止している奨学金については、大学・短期大学において、平成 30(2018)年度入学生から補助金を活用した経済支援奨学制度を導入しました。

- (14) 役員等の改選

平成 30(2018)年度末に選任条項 1 号理事（学長）である宗和太郎理事の学長任期満了に伴い、平成 30(2018)年度第 7 回理事会（臈 31.2.26 開催）にて短期大学再任が承認され、第 8 回理事会（臈 31.3.14 開催）にて理事重任が承認されました。

- (15) 平成 30(2018)年度の常勤教職員数は 223 人（生徒等数 2,405 人：教員 177 人・事務職員 46 人）となり、前年度の常勤教職員 224 人（生徒等数 2,294 人：教員 176 人・事務職員 48

人) に比して、生徒等数は 111 人増、教員は 1 人増、事務職員は 2 人減となりました。

#### (16) 学園全体の合同 FD・SD 研修

平成 30(2018)年 9 月 19 日に「建学の精神『礼節・勤労』を踏まえた教育実践」をテーマに、各学校教職員がワールドカフェ方式で参加しました。今回は、創立 80 周年を迎えるにあたり、建学の精神について学園全体で取り組む企画としており、次年度は建学の精神に関する各学校の取組状況・成果等について発表を行う計画です。

#### (17) 経営企画会議

平成 30(2018)年度は、法人本部と各学校との定例会議を通して把握された教学的・財政的課題について、課題の内容毎に必要な教職員を招集し、下記の通り開催しました。

第 1 回：平成 30(2018)年 6 月 26 日（火） 会場：本部会議室

協議題「現状と課題：学園生徒等数、人口推移と学園高校生徒数、姉妹校進学、中途退学者数、財政状況、人件費、雇用・給与制度等、管理運営等、財政の課題、全体・学校別の課題」

参加者：法人監事、理事長（大学長）、常勤理事（短期大学長・中高校長・中学校副校長）、認定こども園園長、理事長付部長、大学・短期大学・中高校事務局長、法人本部経営企画室（事務局長・経理課長）、総務係長

第 2 回：平成 30(2018)年 10 月 31 日（水） 会場：短期大学会議室

協議題「短期大学の現状と課題について（意見交換）」

参加者：短期大学経営戦略委員会、事務局長

理事長、法人本部経営企画室（事務局長・経理課長）、総務係長<記録>

#### (18) 高大連携連絡協議会

平成 30(2018)年度は、学園での保育士養成プログラム（高等学校 3 年間＋短期大学保育科 2 年間、又は大学教育学部 4 年間）の策定を行うため、各学校の関係者による検討を行いました。当該プログラムは、高等学校普通科（幼児保育コース）の定員を確保し、姉妹校進学による短期大学保育科への安定的な学生確保を図ることを目的の一つとしており、平成 31(2019)年度からの実施を予定しています。

#### (19) 学校法人運営調査（文部科学省 職 29.12.8 実施）

平成 30(2018)年 3 月 8 日付けで通知を受けた学校法人運営調査の指導・助言事項 2 点の改善状況については、同年 7 月 6 日までに改善状況報告書を提出しました。その結果、下記の指導・助言事項が付され、令和元年 7 月 5 日までに報告が求められています。

（宮崎国際大学国際教養学部の学生確保に向けた対応策を立案し、着実に実施すること。）